

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-29	中学校	美術	美術	2・3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	美術 828 美術 829	美術2・3上 学びの深まり 美術2・3下 美の探求		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は教育基本法第一条に示す教育の目的及び第二条に示す教育の目標に則り、「中学校学習指導要領第1章 総則」、及び「第2章 第6節 美術」に示された趣旨並びに内容を基にして教科の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」ことを達成するために、教科書としての役割や責任を果たすべく編修に努めた。

本教科書の編修に当たっては、学習指導要領に示された内容を、以下の3事項に具体化し新しい教科書を編修することを趣旨とした。

①公正で品格のある教科書

美術における表現と鑑賞の学習は、豊かな人間性を育み、人格の陶冶に結び付く活動であることを自覚し、生徒の「生きる力」を育成する目的をもって教科書の題材の設定や図版の選定に当たった。単に知識や技能の習得に終わるのではなく、生徒の人格的成長を願い、公正で品格のある教科書づくりに配慮した。

②わかりやすい教科書

幅広い知識と教養を身に付けるため、美術における基礎・基本を重視し、確かな技能や様々な能力が習得できるようにした。このため、学ぶべき事項を整理して、丁寧な解説を付し、わかりやすい題材としてまとめるようにした。内容の選定においては我が国の伝統文化を尊重し、美術文化が国際社会に果たす役割について理解できるようにした。言語活動を充実させる観点から、美術を言葉を通して理解できるよう、平易でわかりやすい文章にした。

③豊かな心を育む教科書

美術の学習が単なる自己表現に終わるのではなく、道徳心や公共心、他人を思いやる心などが育まれるような題材を工夫した。自然や環境、生活などと美術との関係について考えることから、美術の社会的機能について理解できるような題材を設定し、豊かな心を育むようにした。

美術の学習での教科書の役割は、授業における教材としてはもとより、鑑賞の学習では世界各地の優れた作品を集めた美術館の役割を果たし、表現の学習では創作のアイデアやヒントを与えてくれるよき相談者となり、また制作技法を教えてくれる技法書としての役割も持っているのである。

生徒が美術を愛好する心情をもつようになるには、上記のような優れた内容の教科書に学ぶ必要があると考え、本教科書の編修に努めた。

2. 編修の基本方針

本教科書においては、教育基本法第二条に示される教育の目的を達成するために、七つの具体的な基本方針を定め、編修に努めた。二条第一号は①と②に、第二号は③に、第三号は④に、第四号は⑤に、第五号は⑥と⑦に対応している。

教育基本法第二条

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

[教科書編修に関する具体的な基本方針]

①幅広い知識と教養を身に付けることのできる教科書

オリエンテーションや教科書美術館など、大画面で作品を見せる迫力のあるページを設けた。また、判型を大きくして情報量を増やし、適切な解説を施すなど幅広い知識と教養を身に付けられるような教科書づくりに配慮した。

②豊かな情操と道徳心を培う教科書

材料の扱いや技法などを充実させ、美術科における基礎・基本を十分に踏まえるとともに、生徒のみずみずしい感性に働きかけ、豊かな情操と道徳心を培うような題材選定や構成に配慮した。

③自律・自立の精神を養う教科書

「個に軸を置く題材」、「身の回りの生活に関わる題材」、「社会、自然や生命、環境と関わる題材」という中学生としての世界観の広がりを意識しながら、個人の価値を尊重し、自律の精神を養えるようにした。また、キャリア教育の視点から、勤労を重んずる態度を形成できる内容にした。

④社会の形成に参画する態度を養う教科書

共同制作や鑑賞活動を通じ、他者との学び合いや話し合いの場を通して、学びの中から正義と責任、男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるようにした。また、公共の場で用いられるデザインを考えることで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるような題材を盛り込んだ。

⑤環境の保全に寄与する態度を養う教科書

自然との共生や環境の保全など、人間と環境との相互作用や生命の尊重に対する関心を高め、環境形成に果たす美術の役割について理解を深められるような教科書づくりに配慮した。



下巻P.16 生徒作品
自然を守るのは人の手

⑥伝統と文化を尊重する教科書

自らのアイデンティティを大切にしながら、美術の歴史や伝統、美術文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、これからの時代をリードする「受け継ぐ」担い手を育てることができるよう内容にした。

⑦国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

柔軟な感受性を基にした美的な思考や判断力から生み出される表現を大切に、ビジュアルコミュニケーションの能力を養い、他者の文化や価値観を尊重し、相互理解や国際理解が深められ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことのできる内容にした。



下巻P.17 生徒作品
戦争を嘆く炎の鳥

3. 対照表

本教科書は学習指導要領の示す内容の構成に基づき、生徒の学習のしやすさを考慮してオリエンテーション、絵や彫刻など（表現・鑑賞）、デザインや工芸など（表現・鑑賞）、学習に役立つ資料に分類し構成している。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>オリエンテーション</p>  <p>下巻P.2・3 備前焼作家 伊勢崎淳氏</p>	<p>①美術における表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の姿に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>②美術作品に限らず、我が国の伝統的な文化を支え、発展させてきた背景に美術の働きがあることを理解し、それらを大切に受け継いでいく態度を養うことのできる内容を積極的に取り入れるようにした（第五号）。</p>	<p>①上巻P.2～4, P.6・7 下巻P.2～4, P.6・7</p> <p>②下巻P.6・7</p>
<p>絵や彫刻など（表現・鑑賞）</p>  <p>上巻P.11生徒作品 見返り狼</p>	<p>①美術における表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の姿に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>②一人一人の良さや個性が尊重され、その能力を十分発揮する中で、相互に創造性を高め合うことができるような活動を充実させた（第二号）。</p> <p>③自他の敬愛と協力の精神を養うため、人間への関心を高める題材を設定した（第三号）。</p> <p>④共感的に想像力を発揮する活動を通して、人間同士はもちろんのこと、小さな生き物や環境も含めて、それらとの命の繋がりを感じ取り、あらゆる命を慈しむ態度を育む題材を設けた（第四号）。</p>	<p>①上巻P.8～33 下巻P.8～31</p> <p>②上巻P.8～33 下巻P.8～31</p> <p>③下巻P.22・23</p> <p>④上巻P.10・11 下巻P.16・17</p>
<p>デザインや工芸など（表現・鑑賞）</p>  <p>上巻P.38生徒作品 防災避難のビクトグラム</p>  <p>下巻P.36生徒作品 水飲み場の壁画の装飾</p>	<p>①自分らしい考え方や感じ方を大切にするとともに、生活や社会の中で働く美術の力についての認識を深める内容を充実させた（第二号）。</p> <p>②優れた芸術を理解することは人間としての尊厳を学ぶことに通じる。優れたデザインがそれを使う人の丁寧なマナーを誘発するように、優れた品格の高い美術を示すことが、生徒の人間性を正し「正義と責任感」を養うことに通じると考え編修に努めた（第三号）。</p> <p>③美術は個人的な感性だけを問題とするのではなく社会的機能も持っている、ということが理解できるような題材を設定し、公共の精神の涵養に努めた（第三号）。</p> <p>④仲間と協力することで成し遂げることができる活動を通して、そこから得られる達成感を味わえるような内容を設定した（第三号）。</p> <p>⑤福祉、人権問題などへの視点に基づく表現活動や、心を癒し和ませる環境構築やユニバーサルデザインなど、自他を敬愛し、協力していける社会を創造するための美術の働きや、表現することでその形成や発展に寄与できることに気付かせる内容を設定した（第三号）。</p>	<p>①上巻P.34～47 下巻P.32～47</p> <p>②上巻P.34～47 下巻P.32～47</p> <p>③上巻P.34～47 下巻P.32～47</p> <p>④下巻P.36・37</p> <p>⑤上巻P.42・43 下巻P.36・37</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>デザインや工芸など</p>  <p>上巻P.41生徒作品 自然保護のポスター</p>  <p>上巻P.34生徒作品 着物のアイデアスケッチ</p>	<p>⑥生徒の作品が家庭や地域で活用されたり、展示されたりするような活動を取り上げ、美術を通して、地域や社会と関わることができるように配慮した（第三号）。</p> <p>⑦他者や自然環境などと、共に生きることの大切さについて学ぶ機会を設けた（第四号）。</p> <p>⑧美しい景観や町並み、自然や環境の保全に、美術の働きが寄与している事例を取り上げた。（第四号）。</p> <p>⑨我が国や諸外国の美術や文化に触れる機会を設け、その違いや共通点に気づき、それらを通して多様な文化を理解し、尊重する態度を養うことができる内容を設定した（第五号）。</p>	<p>⑥上巻P.40・41 下巻P.36・37</p> <p>⑦上巻P.34～37 下巻P.42～47</p> <p>⑧上巻P.34～37 下巻P.42～47</p> <p>⑨上巻P.34～37 下巻P.42～47</p>
<p>学習に役立つ資料</p>  <p>下巻P.53 シャッター速度の違いによる写真表現の比較</p>	<p>①美術2・3上下で学ぶべき基礎的・基本的事項について、必要に応じて図示したり、制作過程を取り上げたりし、わかりやすい示し方を心がけた（第一号）。</p> <p>②美術に関する知的財産権や肖像権などについて配慮し、自己や他者の創造物を尊重する態度を形成する教材を設定した（第三号）。</p> <p>③美術作品に限らず、我が国の伝統的な文化を支え、発展させてきた背景に美術の働きがあることを理解し、それらを大切に受け継いでいく態度を養うことのできる内容を積極的に取り入れるようにした（第五号）。</p>	<p>①上巻P.48～57 下巻P.48～57</p> <p>②下巻P.53</p> <p>③下巻P.48・49</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①発想や構想のプロセスを重視

生徒自身のアイデアスケッチや言葉、あるいはその情景写真などを示し、表現活動における発想や構想のプロセスを参考にすることができるよう工夫した。

作者の言葉 大会でスマッシュしたところを、コマ送りで表して、動きをリアルに見せました。シャトルを大きくして迫ってくる感じを出しました。

上巻P.15 作者の言葉

②学習に役立つ資料の充実

表現活動における発想や構想の能力、創造的な技能の発揮をサポートし、その豊かな育成を目的として、材料や用具の扱い方や学習に役立つ資料を巻末に特集して示した。また、年表や世界文化遺産など鑑賞活動をサポートする内容も取り上げた。



下巻P.49 厳島神社 [広島県]

③社会との連携

共同制作で作った作品を自分たちで展示するなど地域社会や作家、美術館などの公共施設との連携を視野に入れた学習活動を積極的に取り上げた。



下巻P.51
造形おかざき子展
[愛知県]

④他教科との関連

自分自身を見つめつつ、時代や地域、民族などを越えた多様な価値観や生き方に触れ、それらが繋がっていることや、それぞれの違いのよさを認め合うことの大切さを感じ取る題材や教材を取り上げ、道徳や社会科、国語科など他教科との連携に配慮した。

自然を愛護する心を持つ。

下巻P.44 道徳の学習と関連する内容を示したマークと文章

⑤多様な美術文化の例示

デザインや工芸をはじめ、多様な美術文化を幅広く題材や教材として取り上げた。ユニバーサルデザインなど、生活のあらゆる場面に美術の力が働いていることをわかりやすく伝えるように工夫した。



上巻P.42
赤ちゃんが頭を寝かせなくてもよい
角度に設計されたほ乳瓶

⑥「伝える力」の育成

今後ますます、プレゼンテーション能力が求められる社会に生きていく中学生が、美術で学んだ力が生かせるように、機器を用いて発表するなど「伝える」力を育成することに重点を置いた内容を取り上げた。



下巻P.33
包装紙や包装する中身の
紹介の方法を工夫した
プレゼンテーション

⑦特別支援教育、ユニバーサルデザインへの配慮

特別支援教育の専門家の校閲を受け、ユニバーサルデザインに配慮した紙面にした。文字の大きさや行間隔、二段組みの段間隔は、だれもが読みやすいよう配慮した。

メッセージの伝え方には、さまざまな方法があります。ポスターや本の裏丁などは、行事や作品の概要を伝える以上、見る人に何かを考えるようにうながしたり、作品のイメージを膨らませたりする働きがあります。豊かに情報を伝えるための、イラストレーションや写真、文字、色などを効果的に組み合わせた表現に取り組みしましょう。

上巻P.40 「豊かなイメージで伝えよう」の本文

⑧防災・復興に関する題材の例示

防災や復興に関する内容を美術と関連づけて扱い、美術が社会に果たす役割について中学生が学べる題材を厳選した。



上巻P.38
津波避難ピクトグラムを用いた警告標識 [三重県]

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-29	中学校	美術	美術	2・3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	美術 828 美術 829	美術2・3上 学びの深まり 美術2・3下 美の探求		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

中学校学習指導要領 第1章 総則, 及び第2章 第6節 美術に示された趣旨並びに内容を基にして, 美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに, 感性を豊かにし, 美術の基礎的な能力を伸ばし, 美術文化についての理解を深め, 豊かな情操を養うことができるよう, 以下の各項目において特に意を用いて編修した。

- ①領域や項目を整理してわかりやすい教科書にした。中学校3年間を通じて自己, 生活, 社会・自然・環境というステージで学習することを設定した。中学生の発達段階を考慮して3分冊の構成にし, 1年「出会いと広がり」, 2・3年上「学びの深まり」, 2・3年下「美の探求」を各分冊のテーマとした。三つのステージと各分冊のテーマを下記のマトリックスに示すように教科書を構成した。

絵や彫刻など A表現 (1) (3)

	学年・テーマ	美術1 出会いと広がり	美術2・3上 学びの深まり	美術2・3下 美の探求
ステージ				
自己		自己を改めて見つめ, 新たに気付く。	自己の内面を見つめ, 今の自分を考える。	自分の生き方や在り方などを考え, 自分の心を追求する。
生活		身の回りのものや生活を見つめ, よさや美しさなどに気付く。	身の回りのものや生活を見つめ, よさや美しさなどについて考える。	大切にしたいことや物などを考え, そこにある本当の価値などを追求する。
社会・自然・環境		自然を見つめ, よさや美しさに気付く。	自然の美しさなどを実感し, 自分の感じ方で理解したりとらえたりして考える。	自然に対する畏敬の念などを感じ, その美しさやすばらしさなどを追求する。

デザインや工芸など A表現 (2) (3)

	学年・テーマ	美術1 出会いと広がり	美術2・3上 学びの深まり	美術2・3下 美の探求
構成 装飾	自己 生活 社会・自然・環境	美意識を働かせ, 自分が表したい構成や装飾を考える。	洗練された美しさを追求し, 生活を豊かにするための構成や装飾を考える。	課題を発見し, 社会・環境を豊かにするための構成や装飾を考える。
伝達	自己 生活 社会・自然・環境	伝えたい内容について分かりやすさや美しさを考えて表す。	多くの人に伝えるために, わかりやすさや美しさなどを考えて表す。	目的や条件をもとに, より多くの人に対して, わかりやすさや美しさなどを考えて表す。
用途 機能	自己 生活 社会・自然・環境	自分が使いたいものの用途や機能, 美しさなどを考えてつくる。	人の気持ちや機能, 美しさなどを総合的に考えてつくる。	人々の気持ちや機能, 夢や想像, 美しさなど, 総合的に考えてつくる。

鑑賞 B鑑賞

ステージ	学年・テーマ	美術1 出会いと広がり	美術2・3上 学びの深まり	美術2・3下 美の探求
自己		美術作品などへの自分の見方や感じ方を広げる。	美術作品などへの自分の見方や感じ方を深める。	美術作品などへの自分の価値意識をもって幅広く味わう。
生活		生活における美術の働きなどへの自分の見方や感じ方を広げる。	生活における美術の働きなどへの自分の見方や感じ方を深める。	生活における美術の働きなどについて自分の価値意識をもって幅広く味わう。
社会・自然・環境		自然の造形美に気付いたり、美術文化への関心を高めたりする。	周りの環境から美などを感じ取ったり、日本の伝統的な美術や諸外国の美術を味わったりする。	自然や周りの環境の見方を深めたり、美術を通じた国際理解や文化の継承・創造への関心を高めたりする。

- ②生活の中に生かされている美術の働きや美術文化への理解を深めることができるように、多様な視点から美術を捉え、教材の幅を可能な限り広げることができるようにした。
- ③〔共通事項〕に示された視点については、全ての題材において、紙面に掲載されている生徒作品や記載する文章などから読み取れるようにした。
- ④表現と鑑賞の関連を考慮し、参照マークを設けて関連するページにリンクをはることで、表現と鑑賞を一体化して学習できるようにした。
- ⑤我が国の美術についての内容を充実させるとともに、例えば「日本の美意識」や「自然を愛でる空間」といった視点から「美術文化に対する関心を高める」学習ができるようにした。
- ⑥絵や彫刻など、デザインや工芸などの枠組みをインデックスで示し、各ページの分野を明確にし、学習の目標がつかみやすくなるようにした。

下巻P.9 参照マーク

参照

ピカソについてはP.30～31

『「ゲルニカ」は語る』も見てみよう。



学習指導要領に示された各学年の目標との関連は以下の通りである。

- 美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めるため、生徒が主体的に美術の活動に取り組むことができる魅力ある教材を系統的に配列した。(1目標(1)との関連)
 - ①関心や意欲、態度の観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、それぞれに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した。
 - ②美術が、身近な生活の中に生かされている魅力的な事例や、社会をよりよく変えていく力につながっている事例などを、オリエンテーションや特設ページなどで取り上げ、美術によって生み出すことのできる価値や、美術を学ぶ意味が理解できるようにした。
 - ③「A表現」「B鑑賞」の各指導事項に関して、そこに示されている資質や能力を発揮しようとしたり、身に付けようとしたりする学習活動が展開できるように可能な限り具体的な事例を示すようにした。
- 生徒が対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばすことができるよう紙面構成を工夫した。(1目標(2)との関連)
 - ①発想や構想の能力、創造的な技能の2観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、それぞれに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した(図1)。

- 関心・意欲・態度に関するねらい
- 発想や構想に関するねらい
- 創造的な技能に関するねらい
- 鑑賞に関するねらい

上巻P.5学びのねらい(図1)

②発想や構想を練ったり、創造的な技能を働かせて実際に形にしていったり、またこれらが相互に関連しながら高まっていくなど、学習のプロセスがわかるよう、必要に応じて、学習活動の過程を具体的に示すようにした。

③それぞれの教材の学習の手立てとなる内容を、「POINT」のマークを用いてわかりやすく示すようにするとともに、各学年で経験しておきたい技法などについて巻末資料として収録した。

POINT

風景をとらえる角度を工夫したり、手前と奥を対比させたりして、作品の構図を考えましょう。

上巻P.8 POINT

○生徒が自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めるよう工夫した。(1目標(3)との関連)

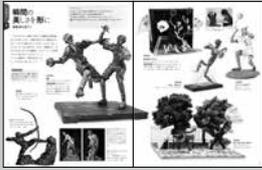
- ①鑑賞の活動の観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、それに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した(図1)。
- ②自分一人では気付くことができない視点や捉え方、価値などに気付くことができるように、他者とかわり合う学習活動を必要に応じ紹介するようにした。
- ③身近な生活の中ですれば見落とししてしまいそうなものから、世界的な視野で捉えるものまで、取り上げる造形や作品の幅を広げ、また、必要に応じて可能な限り図版を大きく掲載するなど、生活の中の美術の働きや文化についての理解を深め、幅広く味わうことができるようにした。
- ④環境、国際理解、共生、世界平和など地球レベルで人類が直面する問題を取り上げ、こうした問題を解決し、心豊かに生きていくことのできる社会を創造するためにある美術の力の大切さや、他教科との連携の大切さが理解できる内容を積極的に取り上げるようにした。

2. 対照表

第2・3学年上

内容の構成(2・3年上・下共通)		
領域	項目	事項
A表現	(1) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	ア 主題の創出 イ 主題などを基にした表現の構想
	(2) 目的や機能を考えた発想や構想	ア 構成や装飾を考えた発想や構想 イ 伝達を考えた発想や構想 ウ 用途や機能などを考えた発想や構想
	(3) 発想や構想をしたことなどを基に表現する技能	ア 創意工夫して表現する技能 イ 見通しをもって表現する技能
B鑑賞	(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう鑑賞	ア 造形的なよさや美しさなどに関する鑑賞 イ 生活を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞 ウ 美術文化に関する鑑賞
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して指導	ア 形や色彩などがもたらす感情の理解 イ 対象のイメージの把握

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		内容			指導計画の作成と内容の取扱い	
		A表現	B鑑賞	共通事項		
オリエンテーション	学びを深めよう		(1) アウ	アイ	1 (2) (4)	P.2~4
	表現の可能性を求めて		(1) ア	アイ	1 (2) (4) 4	P.6・7
(絵や彫刻など表現・鑑賞)	新鮮な視点でとらえよう	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アイウ	P.8・9
	しぐさで語る動物たち	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3	P.10・11
	響き合う言葉と絵	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アイウ	P.12・13

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所
	内容			指導計画の作成と内容の取扱い	
	A表現	B鑑賞	共通事項		
絵や彫刻など（表現・鑑賞） 瞬間の美しさを形に 	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3	P.14・15
	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3)	P.16・17
		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) (5) 4	P.18・19
		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) 4	P.20・21
	(1) アイ (3) アイ	(1) アイウ	アイ	1 (1) (2) (3) (4) (5) 2 (1) エ	P.22・23
	東へ、西へ…  P.26・27		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) 4
漫画表現の豊かさ		(1) アウ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アウ	P.32・33
デザインや工芸など（表現・鑑賞） 日本の美意識 情報をわかりやすく伝えよう 豊かなイメージで伝えよう やさしさのデザイン 座ることから考える 手づくりを味わう喜び	(2) アウ (3) アイ	(1) アイウ	アイ	1 (1) (2) (3) (4) (5) 2 (1) エ	P.34～37
	(2) アイ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) (5) 2 (1) イ	P.38・39
	(2) アイ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) (5) 2 (1) ウ	P.40・41
	(2) アウ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) (5) 2 (1) ア 3	P.42・43
		(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (4) 4	P.44・45
	(2) アウ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3	P.46・47
学習に役立つ資料 まちを彩るパブリックアート 日本美術の展開と世界との交流 現代に受けつがれる浮世絵版画 水墨画の技法 粘土でつくる 木でつくる 金属でつくる 色について理解を深めよう 配色 色について理解を深めよう 日本の伝統色		(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (4) 4	P.48・49
		(1) ウ	アイ	1 (2) (4)	P.50～52
	(3) アイ	(1) アイウ	アイ	1 (2) (4)	P.53・54
	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.53
	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.54
	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.55
	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.55
	(1)アイ (2)アイウ (3)アイ	(1) アイ	アイ	1 (2) 3	P.56
	(1)アイ (2)アイウ (3)アイ	(1) アイ	アイ	1 (2) 2 (1) エ	P.57

第2・3学年下

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		内容			指導計画の作成と内容の取扱い	
		A表現	B鑑賞	共通事項		
デザイン シオン	美を探し求めて		(1) アイ	アイ	1 (2) (4) (5)	P.2~4
	夢をかたちにするデザイン		(1) ア	アイ	1 (2) (4)	P.6・7
絵や彫刻など (表現・鑑賞)	私との対話	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1(1)(2)(3)(5) 2 (1) ア 2 (3)	P.8~11
	空想の世界への誘い	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) (4) 3	P.12・13
	一瞬の光をとらえて	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) イ	P.14・15
	問題意識を形に	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1(1)(2)(3)(5) 2 (1) ウ 3	P.16・17
	ここでシャッターを切った理由		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) 4	P.18・19
	イメージを形で表現しよう	(1) アイ (3) アイ	(1) ア	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) エ 3	P.20・21
	共同制作の魅力	(1) アイ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1(1)(2)(3)(5) 2 (1) アエ 3	P.22・23
	刻まれた祈り		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) (5) 4	P.24~29
	「ゲルニカ」は語る		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) (5) 4	P.30・31
デザインや工芸など (表現・鑑賞)	魅力が伝わるパッケージ	(2) ア (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3	P.32・33
	光と影の空間演出	(2) ア (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) イ 3	P.34・35
	自分たちの生活の場を飾ろう	(2) ア (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) ウ 3	P.36・37
	生活を彩る染めの味わい	(2) ア (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) エ 3	P.38・39
	暮らしを心地よくするインテリア	(2) アウ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3	P.40・41
	自然を愛でる空間		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) (5) 4	P.42・43
	デザインと環境	(2) アウ (3) アイ	(1) アイ	アイ	1(1)(2)(3)(5) 2 (1) ア 3	P.44・45
	デザインで変える現在と未来		(1) アイ	アイ	1 (2) (4) (5)	P.46・47
学習に役立つ資料	日本の世界文化遺産		(1) イウ	アイ	1 (2) (4) 2 (2)	P.48・49
	受けつぎつくる人の姿		(1) イウ	アイ	1 (2) (4) 2 (2)	P.48・49
	アートを体験する場に出かけよう		(1) イ	アイ	1 (2) (4) 2 (2)	P.50~52
	写真撮影の第一歩	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) イ 2 (5)	P.53
	コンピュータ・グラフィックスの表現	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) イ	P.53
	アニメーションの表現	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) イ	P.53
	石を彫る	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.54
	織る	(3) アイ		アイ	1 (2) 2 (1) エ 3	P.54
	仏像の種類		(1) アウ	アイ	1 (2) (4) 4	P.55
近代の建築	(2) アイウ (3) アイ	(1) イ	アイ	1 (2) (4) 4	P.55	
オリエン ション	あなたへ ~中学校美術からの巣立ち~		(1) ア	アイ	1 (2) (4)	P.56・57